



# 研究だより

各学部、寄宿舎の取り組みを紹介します。

佐賀県立唐津特別支援学校

2022(令和4)年11月発行

研究部

第2号

## 小学部

### 1. 共通理解した内容

○3観点を視点とした授業づくりの手順について、昨年度の知的5年の生活単元学習を例に挙げながら提案した。

○個人のねがいについては、3観点を視点とした「ねがい」の立て方を、事例を挙げながら提案した。また、事例児を挙げて演習を行い、考え方や書き方の共通理解を図った。

### 2. 授業実践において取り組んだ内容(6月単元)

○各学級子ども1名の事例を挙げ、3観点を視点とした個人のねがいを検討した。

○知的5年(生活単元学習)とⅡ課程(遊びの指導)の授業を提案授業とし、単元終了後に授業研究会を行った。

### 2学期に向けて

★どんな場面で主体的な姿を見たいのかを考えた後、3観点を視点で見直し、具体的なねがいにする。

★抽象的なねがい➡「ひとりで」=「～を確認しながらひとりで」など子どもの姿がわかるように、より具体的に書けないか検討する。

## 中学部

### ○中学部学部研究会の流れ

- ①各グループ(作業班・Ⅲ課程)で事例生徒を決め、「ねがい・手立て」を検討
- ②各グループの取り組みについて発表し、学部で共有  
→より良い授業づくりに生かす

### ・合同学部研究会 久野隆裕先生の講話

個人の「ねがい」の中に3観点を視点が含まれていること、「ねがい」が具体的にしていれば「評価」の観点もおおのずと具体的になることを確認

### ・第2回学部研究会 脇山修先生の講話

作業学習の考え方や、できる状況づくりの大切さを確認

### ・第3回学部研究会

グループごとに1学期の単元について振り返り、事例生徒の変容を共有

### ・第4回学部研究会

事例生徒の「できる状況づくり」の取り組みについて発表

### 2学期に向けて

一人一人の生徒について、複数の視点で様子を見取り、より具体的なねがいや、より適切な手立てを考え、できる状況をつくらせていくことが、生徒の主体的な姿に繋がるということが分かった。2学期も引き続き、3観点を踏まえて「ねがい・手立て・評価」を検討し、取り組みについて発表の場を設け、学部全体で共有することで、より良い授業づくりに繋げていきたい。

## 高等部

### 授業実践において取り組んだ内容

1学期の取り組みから振り返りについて

第3回学部研究会において、事例生徒を対象に3観点を意識した「評価」の仕方と「ねがい」の検討を行った。3観点を意識した「評価」の仕方については、合同学部研究会での講師の先生からの助言を基に講演を受け、研究部でワークシートを作成し、各班で「ねがい」についての再検討と「評価」の検討を行った。

<「ねがい」についての振り返り・「評価」の検討項目>

①ねがいにあげた活動を行っている時の生徒の【主体的に取り組む態度】とは、どのようなものか。

②【主体的に取り組む態度】の中に、どのような【知識・技能】や【思考・判断・表現】が含まれているか。

③ねがいの文面で、【主体的に取り組む態度】【知識・技能】【思考・判断・表現】の要素が表れている部分に線を引く。修正が必要な場合は修正したものを記入。

④評価の文面にも【主体的に取り組む態度】【知識・技能】【思考・判断・表現】の要素が表れている部分に線を引く。

## 寄宿舎

### 1. 寄宿舎生活で取り組んだ内容

○子どもたちが「やってみよう」「自分でできた」という気持ちを育てる取り組み、活動の実践

○子どもたち自身が選択できるような状況づくり、環境づくりを行っていく。⇒子どもたちの「主体性」を育む生活づくり【夏まつりや棟活動など】

○子どもたちが互いを尊重しあえるような人間性を育てる取り組み、活動の実践【各棟のミーティングなど】  
(「〇〇くん、ありがとう」「自己紹介カード作成」)

○寄宿舎生活で身につけるべき力の見直し、支援の実践

【グループホームの施設長さんからの助言を受けて、入浴や衛生面に関する支援の見直しを行い、改善を図った。】

### 2. 今後に向けて

★子どもたちが主体的に活動できる状況づくりを実践し、子どもがしたいことを中心に子ども自身がつくりあげるような、取り組みや活動の充実を図る。

★生活の中での「主体性」と「ゆとり」の両立を考え、寄宿舎生活の充実を図る。



♪夏まつりの様子♪